



## 2019年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年2月7日

上場会社名 株式会社フルヤ金属 上場取引所 東  
 コード番号 7826 URL http://www.furuyametals.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古屋 堯民  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 榊田 裕之 TEL 03-5977-3377  
 四半期報告書提出予定日 2019年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第2四半期の連結業績（2018年7月1日～2018年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	11,102	6.1	2,965	109.0	2,986	106.9	1,764	77.9
2018年6月期第2四半期	10,465	—	1,418	—	1,443	—	991	—

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 1,758百万円 (75.2%) 2018年6月期第2四半期 1,004百万円 (—)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	245.67	244.59
2018年6月期第2四半期	138.11	137.59

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	25,191	18,404	72.7
2018年6月期	22,382	17,334	77.2

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 18,312百万円 2018年6月期 17,271百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年6月期の連結業績予想（2018年7月1日～2019年6月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,982	△1.0	4,856	41.3	4,856	40.7	2,980	25.4	442.82

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年6月期2Q	7,265,212株	2018年6月期	7,265,212株
② 期末自己株式数	2019年6月期2Q	83,569株	2018年6月期	83,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年6月期2Q	7,265,212株	2018年6月期2Q	7,265,212株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. その他	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、好調な米国経済、企業の積極的な設備投資、円安傾向などを背景に、全体として緩やかな回復傾向が続きましたが、米中貿易摩擦の激化の影響が徐々に顕在化し始め、年末にかけて減速感が増してきました。

このような経済環境の中、全般的には有機EL向けや電極向けの貴金属原料・化合物、銀合金ターゲット、HD向けルテニウムターゲットの受注は堅調に推移しましたが、I r ルツボや半導体製造装置メーカー向け温度センサーの受注は顧客の生産調整・出荷調整を受けて軟調な受注状況が続きました。一方で一部貴金属の上昇と不足感を背景に顧客による前倒し購入があり、売上高・利益ともに影響を受けました。その結果、当第2四半期連結累計期間において、売上高11,102百万円(前年同四半期比6.1%増)、売上総利益4,033百万円(前年同四半期比63.2%増)、営業利益2,965百万円(前年同四半期比109.0%増)、経常利益2,986百万円(前年同四半期比106.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,764百万円(前年同四半期比77.9%増)となりました。

なお、セグメント別の業績は以下のとおりであります。

## ①セグメント別の業績

## [電子]

米国向けの単結晶育成装置向けイリジウムルツボや、ガラス溶解装置向け白金製品の受注は堅調に推移しましたが、スマートフォンなどのSAWデバイス(必要な周波数信号を取り出すデバイス)に使用されるリチウムタングレート単結晶育成装置向けイリジウムルツボの受注は顧客の長期的な生産調整の影響で低調に推移し、売上高1,924百万円(前年同四半期比41.8%減)、売上総利益658百万円(前年同四半期比12.1%減)となりました。

## [薄膜]

HD向けルテニウムターゲットの受注は年末にかけて鈍化したものの概ね堅調に推移し、スマートフォンなどのタッチパネル配線向け銀合金ターゲットの受注も好調に推移しました。また、一部貴金属の価格上昇もあって、売上高5,044百万円(前年同四半期比63.0%増)、売上総利益1,771百万円(前年同四半期比178.9%増)となりました。

## [センサー]

半導体製造装置メーカーの出荷調整の影響に加え、海外半導体メーカーからの受注も鈍化しており、売上高1,122百万円(前年同四半期比4.7%減)、売上総利益341百万円(前年同四半期比13.0%減)となりました。

## [ケミカル]

後半に減速感が見られたものの有機EL向け及び電極向けの貴金属原料・化合物の受注が堅調で、触媒の受注も堅調だったことに加え、一部貴金属の価格上昇や不足感からの前倒し受注が加わり、売上高2,928百万円(前年同四半期比4.6%増)、売上総利益1,244百万円(前年同四半期比84.9%増)となりました。

## ②海外売上

当第2四半期連結累計期間における海外売上高は6,006百万円(総売上高に占める割合は54.1%)となりました。地域別にはアジア向け売上高3,782百万円(海外売上高に占める割合は63.0%)、北米向け売上高1,297百万円(海外売上高に占める割合は21.6%)、欧州向け売上926百万円(海外売上高に占める割合は15.4%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は25,191百万円(前連結会計年度末比2,809百万円の増加)、負債は6,786百万円(前連結会計年度末比1,739百万円の増加)、純資産は18,404百万円(前連結会計年度末比1,069百万円の増加)となりました。

## ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産残高は15,475百万円となり、前連結会計年度末比1,933百万円増加いたしました。これは現金及び預金が854百万円減少しましたが、たな卸資産が3,275百万円増加したことが主な要因であります。

## ②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産残高は9,715百万円となり、前連結会計年度末比875百万円増加いたしました。これは有形固定資産が1,097百万円増加したことが主な要因であります。

## ③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債残高は4,235百万円となり、前連結会計年度末比1,395百万円増加いたしました。これは買掛金が1,053百万円、未払法人税等が453百万円それぞれ増加したことが主な要因であります。

④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債残高は2,551百万円となり、前連結会計年度末比344百万円増加いたしました。これは長期借入金が290百万円増加したことが主な要因であります。

⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産残高は18,404百万円となり、前連結会計年度末比1,069百万円増加いたしました。これは利益剰余金が1,046百万円増加したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月7日に公表いたしました連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日発表の「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報にもとづき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,068	2,214
受取手形及び売掛金	3,065	2,837
商品及び製品	321	655
仕掛品	977	751
原材料及び貯蔵品	5,168	8,335
その他	939	682
流動資産合計	13,541	15,475
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,184	2,169
機械装置及び運搬具(純額)	3,747	3,998
土地	1,612	1,724
リース資産(純額)	25	65
建設仮勘定	82	790
その他(純額)	45	46
有形固定資産合計	7,697	8,794
無形固定資産	60	60
投資その他の資産		
投資有価証券	37	34
繰延税金資産	950	725
その他	96	102
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	1,082	860
固定資産合計	8,840	9,715
資産合計	22,382	25,191

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	464	1,518
未払法人税等	604	1,057
賞与引当金	265	256
1年内返済予定の長期借入金	780	837
その他	726	565
流動負債合計	2,840	4,235
固定負債		
長期借入金	1,285	1,575
退職給付に係る負債	484	496
資産除去債務	16	25
その他	420	453
固定負債合計	2,206	2,551
負債合計	5,047	6,786
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,445	5,445
資本剰余金	5,414	5,414
利益剰余金	6,656	7,702
自己株式	△252	△252
株主資本合計	17,263	18,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12	4
為替換算調整勘定	△4	△1
その他の包括利益累計額合計	7	2
新株予約権	63	92
純資産合計	17,334	18,404
負債純資産合計	22,382	25,191

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	10,465	11,102
売上原価	7,994	7,069
売上総利益	2,470	4,033
販売費及び一般管理費	1,052	1,067
営業利益	1,418	2,965
営業外収益		
受取利息	0	0
デリバティブ評価益	—	10
為替差益	23	3
助成金収入	13	13
その他	7	3
営業外収益合計	43	31
営業外費用		
支払利息	9	7
デリバティブ評価損	0	—
固定資産除却損	5	4
その他	3	0
営業外費用合計	18	11
経常利益	1,443	2,986
税金等調整前四半期純利益	1,443	2,986
法人税、住民税及び事業税	330	997
法人税等調整額	121	224
法人税等合計	452	1,221
四半期純利益	991	1,764
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	991	1,764



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	991	1,764
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△8
為替換算調整勘定	0	3
その他の包括利益合計	12	△5
四半期包括利益	1,004	1,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,004	1,758
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,443	2,986
減価償却費	204	214
賞与引当金の増減額(△は減少)	70	△60
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	9	7
為替差損益(△は益)	△23	△4
デリバティブ評価損益(△は益)	0	△10
売上債権の増減額(△は増加)	342	271
たな卸資産の増減額(△は増加)	1	△3,275
仕入債務の増減額(△は減少)	867	1,033
未収消費税等の増減額(△は増加)	15	337
その他	267	△1,057
小計	3,200	443
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△10	△7
補助金の受取額	13	13
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△440	△539
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,763	△89
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
無形固定資産の取得による支出	△4	△8
有形固定資産の取得による支出	△63	△386
その他	0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	△395
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300	0
長期借入れによる収入	900	800
長期借入金の返済による支出	△505	△452
ストックオプションの行使による収入	0	0
配当金の支払額	△358	△718
財務活動によるキャッシュ・フロー	△263	△370
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,433	△854
現金及び現金同等物の期首残高	1,217	3,068
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,651	2,214

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2017年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,304	3,095	1,177	2,800	10,377	87	10,465
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,304	3,095	1,177	2,800	10,377	87	10,465
セグメント利益	748	635	392	673	2,449	20	2,470

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計 (注2)
	電子	薄膜	センサー	ケミカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,924	5,044	1,122	2,928	11,019	82	11,102
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,924	5,044	1,122	2,928	11,019	82	11,102
セグメント利益	658	1,771	341	1,244	4,016	16	4,033

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、仕入製品の販売等であります。

(注2) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

## 3. その他

(たな卸資産の固定資産振替)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、当社が保有する貴金属地金について、利用実態により即した地金管理を行うため、管理体制を変更しました。その結果、たな卸資産の一部を固定資産に振替えております。これにより、「仕掛品」が746百万円減少し、「建設仮勘定」が746百万円増加しております。